



報道関係各位

リアルワールド株式会社

**リアルワールド（RLWRD）、
「まちまるごと実証実験by TMIP」への参加が決定
三菱地所・TMIPとの連携を通じてフィジカルAIの社会実装を加速
ロボティクス基盤モデル「RLDX-1」を活用した
飲料手渡し・空容器回収のデモンストレーションを実施**

世界最先端のフィジカルAI基盤モデルの開発に取り組むリアルワールド株式会社（RLWRD、本社：アメリカ 代表：リュ・ジュンヒ／日本法人：東京都千代田区 代表：李フン、以下 リアルワールド（RLWRD））は三菱地所株式会社（以下、三菱地所）、および一般社団法人TMIPが運営するオープンイノベーションプラットフォームTokyo Marunouchi Innovation Platform（以下、TMIP）と連携し、2026年10月15日（木）・16日（金）の2日間、大手町仲通りにおいて、フィジカルAI基盤モデルで動くロボットによる飲料の手渡しや空容器の回収を体験できるデモ実証を実施します。



2026年10月15日（木）・16日（金）の2日間、大手町仲通り（まちまるごと WELLNESS WEEKS 2026 Autumn会場内）において、自社開発の5本指ハンド対応ロボティクス基盤モデル「RLDX-1」で動くロボットによる、飲料の手渡しや空容器（ペットボトル）の回収を体験できる実証実験を実施いたします。

■参加の背景について

現在、リアルワールドと三菱地所は、TMIPを通じて、丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）における新たな価値創出や、フィジカルAIを活用した産業現場の変革につながる共創機会の創出を目指しています。

人手不足が深刻化する中、現実世界で高度な作業を担う「フィジカルAI」への期待が高まっています。一方で、社会への本格普及に向けては、人や周囲環境の変動に対応した安全で安定的な動作の実証や、実際の利用環境に即した運用ノウハウの確立が不可欠です。

リアルワールド（RLWRLD）は、新丸ビル内のスタートアップ拠点「EGG」に拠点を置き、人間レベルの手指動作を実現する5本指ハンド対応のロボティクス基盤モデル「RLDX-1」の開発しております。独自構築のマルチセンサーキャプチャーシステム等を通じて視覚・触覚・動作制御を一体で学習させることで、複雑な環境下でも人のように高度で柔軟な自動化動作を可能にしています。



ロボティクス基盤モデル「RLDX-1」

本実証は、丸の内エリアにおける複数企業の共創による実証実験を企画・推進する取り組み「[まちまるごと実証実験by TMIP](#)」の一環として実施するものです。AIがデジタル空間だけでなく、実際の街で人やモノと関わりながら、認識・判断・柔軟な操作で動く「フィジカルAI」の社会実装を目指し、ロボットが街の中で人とどのように接し、サービスを提供できるのかを検証します。

■まちまるごと WELLNESS WEEKS 2026 Autumn 実証実験概要

実験名称：フィジカルAIロボットによる飲料の手渡し・空容器の回収の体験実証

実施場所：大手町仲通り

実証期間：2026年10月15日（木）・16日（金）

※本実証は、「運動・リフレッシュ・交流・発見」の体験を通じて一人ひとりのウェルネスを支え、まち全体の活力につなげていくエリア帯イベント「まちまるごと WELLNESS WEEKS 2026 Autumn」（会期：2026年10月14日（水）～21日（水））期間中の上記2日間のみ、イベント内で実施する取り組みです。

実証内容：

① 飲料の手渡し体験

ロボットが飲料をつかみ、エリア就業者や来街者に手渡します。人との受け渡し動作を通じて、産業現場における物品の供給や作業支援など、フィジカルAIの活用の可能性を紹介します。

② 空容器の回収

エリア就業者や来街者がテーブル上の指定位置に置いた空容器を、ロボットがつかんで回収します。対象物をつかんで移動させる動作を通じて、産業現場における物品回収やハンドリング作業への応用をイメージいただけます。

※体験内容は事前検証の結果などにより変更する場合があります。また、天候や機材の状況により、実施内容の変更や中止となる場合があります。

来街者が実際の街の中で「RLDX-1」で稼働するロボットと直接触れ合う機会を創出することで、技術的な検証だけでなく、フィジカルAIに対する認知・親近感・理解を深めていただくことを目指します。

■リアルワールド（RLWRLD）について

リアルワールドは、実産業現場で収集した高精度マルチモーダルデータを基盤に、人間レベルの手指動作を実現するロボット基盤モデルを開発するPhysical AI企業です。独自に構築したマルチセンサーキャプチャシステムにより、複雑な製造・物流等様々な産業のデータを大規模に取得し、認知・動作・制御を統括したモデルによって高度な自動化を可能にしています。日本・韓国の主要製造企業及び著名VCからシード投資を獲得し、複数の産業パートナーとのパイロットプロジェクトを進行中です。産業用ロボティクスAI領域において、東アジアの構造的な強みを背景に、グローバルリーディングカンパニーへの成長を加速しています。

【一般社団法人TMIP】

一般社団法人TMIPは、丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）のイノベーション・エコシステム形成に向けて、TMIPを運営しています。TMIPは、大企業とスタートアップ・官・学が連携して社会課題を解決することで、イノベーションの創出を支援するオープンイノベーションプラットフォームです。会員、パートナーを含めると400社を超える組織になります。

<https://www.tmip.jp/ja/>

<まちまるごと実証実験by TMIPとは>

TMIPコーディネートのもと、丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）が有するアセットを活用し、複数企業の共創による実証実験によって共創プロジェクトを加速させる取り組みです。

<https://www.tmip.jp/ja/report/12089>